



「児童生徒の不登校」「若者のひきこもり」課題解決に向けた  
社会資源を活用した「メンタルヘルス」支援プログラム開発と  
リンクワーカー人材育成事業

事業期間：2024年4月1日～2025年3月31日

極めて  
深刻な  
状態

背景

児童生徒の  
不登校

29万9千人<sup>※1</sup>

若者の  
ひきこもり

65万3千人<sup>※2</sup>

強い不安、悩み、  
ストレスを  
感じる労働者

82.2%<sup>※3</sup>



※1:文部科学省調査 ※2:内閣府調査(15歳～39歳) ※3:厚生労働省調査

活動のポイント

博物館見学で癒し効果を。  
人々の健康増進・疾病予防に活用!

博物館浴のすすめ

「メンタルヘルス」支援プログラム開発

リンクワーカー(支え手)の育成

リンクワーカー自身も  
イキイキと活動的に!

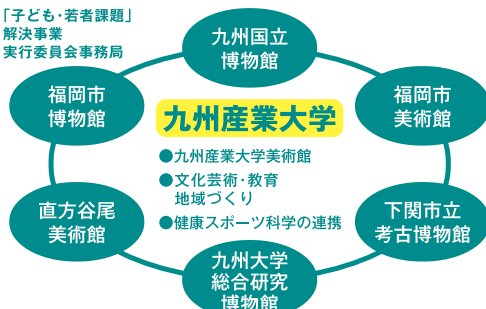


人材育成や博物館を活用した、  
人々がつながる場所づくりなど

目標と体制

大学・博物館・医療・福祉・学校が協働する  
博物館を活用した「子ども・若者」を支える  
「博物館健康ステーション」の構築

「子ども・若者課題」  
解決事業  
実行委員会事務局



具体的な活動



オンライン講座

- 「未来の学芸員」育成プログラム開発講座
- 博物館リンクワーカー人材養成講座



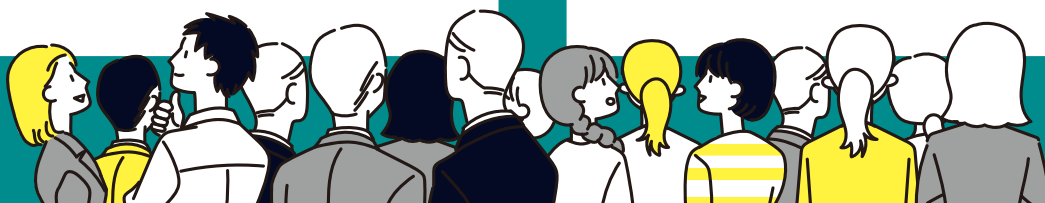
「博物館の  
リラックス効果」  
実証実験



博物館  
健康ステーション/  
ミュージアムカフェ



英国と日本を結ぶ  
オンライン  
国際シンポジウム  
など



続きは  
ウラ面を  
ご覧ください

## 令和6年度 事業実施概要



### 博物館リンクワーカー人材養成

#### (人材養成コース) オンライン講座

博物館などの社会資源を、地域とどのようにつなげていくかについて、各地域の事例を学ぶ講座です。

### 「未来の子ども学芸員」育成プログラム開発

#### (プログラム開発コース) オンライン講座

地域の子ども達を未来の学芸員として育て、博物館が社会的処方場となるための理論と実践を学ぶ講座です。

活気を示す  
ポジティブな項目の  
数値が上昇!

黙々  
鑑賞

疲労や緊張などの  
ネガティブな項目の  
数値が低下!

### おしゃべり 鑑賞



(国立西洋美術館(新館))



(国立西洋美術館(新館))



(国立西洋美術館(講堂))



皆さんの協力を得て、**効果評価調査**を行いました。

### 博物館のリラックス効果に関する

#### 「博物館浴」実証実験

全国の博物館・美術館等の協力を得て、参加者への生理測定、心理測定による効果評価調査を行いました。  
博物館の新たな価値を理解する人材育成の場にもなります。

### 海外の博物館関係者、 リンクワーカーを 招聘した

#### オンライン国際

#### シンポジウムの実施



国内外の参加者が  
オンライン上で  
交流する予定です。



### 博物館健康ステーション/ ミュージアムカフェ事業



ミュージアムカフェ  
(下関市立考古博物館)



講座を修了した受講生が  
**博物館浴プログラム**  
(居場所づくり)を企画・立案!

### 多言語学習 映像資料・

#### 「博物館浴」学習映像資料・ 事業実績 映像の制作



インバウンド向けの  
多言語の映像も制作!

博物館資料の  
取り扱い方などを  
学ぶための  
**学習映像資料**を  
制作しました。

## 博物館を社会的処方場とし、 「薬」だけに頼らない地域医療の構築を目指します!

1

博物館コレクションを活用したメンタルヘルス支援プログラム開発と医療・福祉従事者と地域住民、そして博物館をつなぐリンクワーカー人材育成がカギとなります。

2

人材の育成は、地域に「社会的処方」の場としての博物館を増やすと同時に、リンクワーカー自身の「生きがいづくり」「健康寿命増進」に結びつきます。

3

博物館に留まらず、地域の学校や公民館、図書館、保健所等多様な社会資源で、広く活躍できるリンクワーカーの人材育成も目標となります。

4

「地域の通いの場」となる、「博物館健康ステーション」を構築することで、児童生徒・若者はもちろん、地域住民のメンタルヘルス支援への効果が期待できます。そのことは、博物館の新たな価値創造につながります。



「博物館と健康」  
という新たな  
価値創造が  
期待できます!